

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岩手県	雫石町	令和元年度（平成 31 年度）～ 令和 5 年度	令和元年度（平成 31 年度）～ 令和 5 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状（割合※1） （令和 年度）	目標（割合※1） （令和 年度） A	実績（割合※1） （令和 年度） B	実績/目 標※2
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量）	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量＋集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。
(生活排水処理)

指 標		現 状 （平成29年度）	目 標 （令和5年度） A	実 績 （令和5年度） B	実績/目 標※3
総人口		16,865 人	15,154 人	15,176 人	—
公共下水道	污水衛生処理人口	7,800 人	7,591 人	7,596 人	
	污水衛生処理率	46.2%	50.1%	50.1%	100.0%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	1,347 人	1,245 人	1,212 人	
	污水衛生処理率	8.0%	8.2%	8.0%	%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	2,780 人	2,634 人	2,761 人	
	污水衛生処理率	16.5%	17.4%	18.2%	188.9%
未処理人口	污水衛生未処理人口	4,938 人	3,684 人	3,607 人	—

※3 （実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再 使用の推進 に関するもの						
処理体制の 構築、変更に 関するもの						
処理施設の 整備に関する もの		浄化槽設置整備事業	雫石町	公共下水道、農業集落排水処理区域外において合併処理浄化槽を設置しようとする申請者に対して補助金を交付する。	令和元年度(平成31年度)～ 令和5年度	総事業費 28,095 千円 総交付基本額 28,095 千円 総交付額 7,099 千円 交付対象基数 64 基
施設整備に 係る計画支 援に関する もの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

当初計画は、5カ年で100基の合併処理浄化槽（個人設置型）を整備し、総人口に占める浄化槽処理率を17.4%に押し上げる等目標を設定しており、令和元年度から令和5年度までの事業実績では整備基数64基と目標基数よりも少ない状況であったが、総人口に占める浄化槽処理率が18.2%となり目標率を0.8ポイント上回るかたちとなった。また、総人口に占める未処理人口の割合も減少したことで、水質汚濁や周辺環境の汚染防止につながったことから、目標は達成したものと判断する。

今後、公共下水道や農業集落排水処理区以外の地域については、引き続き循環型社会形成推進交付金を活用し合併処理浄化槽（個人設置型）の整備を進めると共に、単独処理浄化槽や汲み取り槽からの転換を推奨し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めていく。

（都道府県知事の所見）

合併処理浄化槽の普及実績について、人口が減少している中、着実に浄化槽の整備を進めたことから本計画による施策が浄化槽の普及促進に大きく寄与したことが認められる。

雫石町では、既に新規計画（令和6年度～令和10年度）を策定したところであり、今後も引き続き循環型社会形成推進交付金等を活用しながら浄化槽の更なる普及促進に努められたい。